

桜台小だより

<http://www.sagamihara-sakuradai-e.ed.jp/>



〒252-0321
相模原市南区相模台7-7-1
TEL 042-742-3674
FAX 042-741-7991

学校長 遠藤 洋子
令和3年 1月 29日

一陽来復

早いもので1月が終わり、もうすぐ立春を迎えます。まだまだ寒さは続きそうですが、季節はゆっくりと春へと移り変わっていきます。桜台小学校の桜も、しっかりした芽をつけてじっと春を待っているように見えます。

さて、2月2日は節分です。豆まきの楯に「一陽来復」と書かれていることがあります。これは、冬が終わって春がやってくること、悪いことが続いた後に幸運が開けるという意味があるそうです。四季の中で、春は、新しいことの始まりや何か希望を感じさせてくれる季節です。それは、冬の厳しい寒さがあるからこそ春を迎える喜びがあるのだと私は思います。

今年度は、休校で始まり、分散登校、感染症拡大防止のための新しい生活様式の徹底、日々の消毒作業等、これまでに経験のないことの連続でした。子供たちが楽しみにしている給食ですが、学校再開以来ずっと、前向きに座り黙って食べています。本当は友達と対面し会話を楽しみながら食事をしたんだろうし、思いきり友達とふれあいたいだろうと、少しかわいそうに思っていますが、桜っ子たちはたくましいです。制限がある中でも明るく元気に学校生活を送っています。26日には児童集会が予定されていましたが、全校で集まることができませんでした。それならば放送でクイズ大会をしようと考え、実行しました。そしてみんなで楽しみました。素晴らしい子供たちです。

また、教職員も知恵を出し合い、「学び、かかわり、共に育つ桜っ子」をめざして、日々教育活動に励んでいます。本校は、今年度より相模原市の指定を受けて算数科の研究に取り組んでいるところですが、多くの教員が一つの教室に入り授業を参観することができませんので、IC機器を活用しリモートで参観したり協議会をもったりしています。従来通りに行かないことが多くありましたが、新しい発見も沢山ありました。今、学校は、成果と課題を明らかにし来年度に向けて準備を進めているところです。また、子供たちにも、今の学年のまとめをしっかりし、夢と希望をもって次の学年に進級できるようにと指導しています。



『一陽来復』

暖かな春と安心できる時が来ることを願い、今は、できることを粛々と進めていきます。